

## 熱風発生機 マルチドライヤHAS-10～30取扱説明書

(平成14年2月)

- このたびはマルチドライヤをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
- お読みになったあとは大切に保管してください。
- 本製品の性能を充分発揮させ、事故を未然に防ぎ、長期間にわたって良好な運転を持続するためにもこの取扱説明書を十分に習熟し、内容を理解した上で作業をおこなってください。



### 特長

1. 小型ながら強力なヒータおよび送風機を内蔵しています。
2. 電源コード・キャップ(プラグ)・コンセント(HAS-10を除く)を標準で付属していますので、即ご使用になれます。
3. 設定温度と熱風温度をデジタル表示(切替式)します。
4. ヒータ部が異常に過熱(オーバーヒート)したときは、自動的に停止する安全回路を組み込んでいます。
5. 外部センサ用のソケット付きですのでオプションの専用外部センサを併用すれば、乾燥箱などの内部温度を精度よくコントロールできます。
6. 配管部品などのオプションを豊富にとりそえています。

**ご使用前に本書を必ずお読みください。**

## 1. 据え付け

- 1-1 風雨にさらされない乾燥した、風通しのよい所でご使用ください。密閉した箱の中では絶対に使用しないでください。
- 1-2 ガソリン、ガスの近くなど引火の恐れのある所では絶対に使用しないでください。
- 1-3 通電性浮遊物(カーボン繊維等)のある所では絶対に使用しないでください。
- 1-4 必要に応じて固定金具でしっかりと固定してください。
- 1-5 幼児が触れる恐れのある所では絶対に使用しないでください。
- 1-6 パソコン、ラジオ、計測機器などのノイズの影響を受けやすいもののそばでは使用しないでください。
- 1-7 ほこり等が多い場合での使用はさけてください。
- 1-8 吸入口(フィルタ)は十分な空間距離をあけてください。

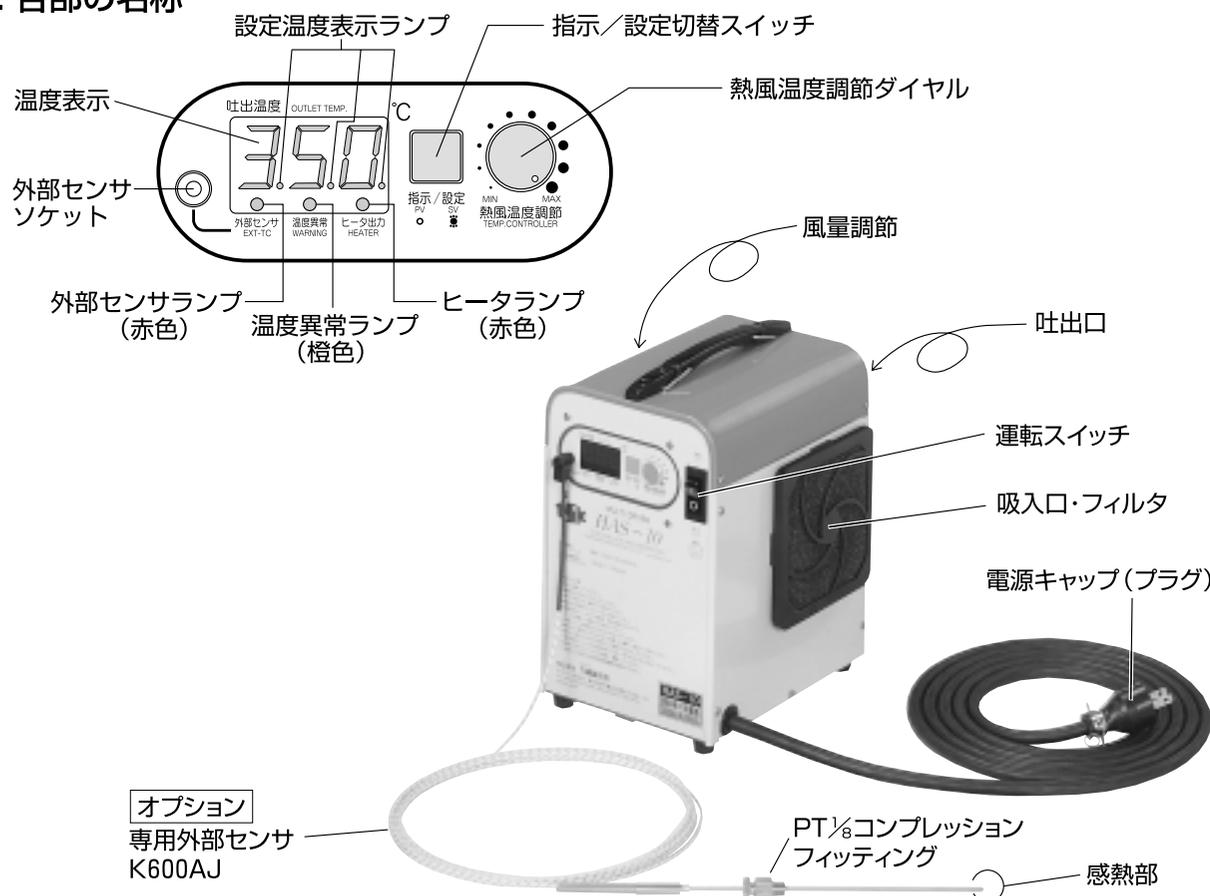
## 2. 配管

- 2-1 配管はできるだけ短くしてください。配管を極端に絞らないでください。
- 2-2 吸入口、吐出口をふさがないでください。吐出口へのホース配管は熱風が漏れないようにバンドでしっかりと締め付けてください。

## 3. 電源

- 3-1 マルチドライヤの電源電圧に合った専用電源をご用意ください。
- 3-2 HAS-10は同じコンセントの電源で他の機器と同時には使用しないでください。  
注意：延長コードを使用される場合は電圧降下を考慮してください。
- 3-3：200V電源の機種は必ずアース工事(300V以下:D種接地)をしてください。
- 3-4：他の機器と連動させて高頻度で電源を入り切りしないでください。

## 4. 各部の名称



## 5. 運転手順

- 5-1 運転スイッチを入れると送風し、3秒間設定温度を表示後ヒータが入り運転します。
- 5-2 指示/設定切換スイッチを押して温度表示を設定値(…点滅)に切替えて、熱風温度調節ダイヤルを廻して設定するとヒータランプ(赤色)が点灯し熱風がでます。温度設定が終わったら指示/設定切換スイッチを押して温度表示を指示値(…消灯)に戻します。

注意：温度表示が指示温度の時でも熱風温度調節ダイヤルを廻すと温度設定が変わります。

- 5-3 風量調節は本体の横の風量調節のつまみで設定します。HASシリーズはカタログ記載の性能曲線により風量が多い場合は、熱風温度が設定温度に達しませんので風量を少なくしてください。
- 5-4 ご使用後は、運転スイッチを切り必ず電源キャップ(プラグ)をコンセントから抜いてください。ご使用直後は本体や吐出口に余熱がありますので冷えたことを確認してから収納してください。
- 5-5 吸入口のフィルタは定期的に点検・清掃してください(水洗い再生可能)。スペアフィルタのみの販売をしています(5枚1組)。

## 6. 外部センサ

- 6-1 離れた場所の温度で温度制御をする場合は、必ず専用外部センサ(別売)を使用してください。専用外部センサの感熱部をPT1/8コンプレッションフィッティングで固定してリード線先端のプラグを操作パネルの外部センサソケットのキャップを外し差し込むと外部センサランプ(赤色)が点灯して温度制御が切り替わります。
- 6-2 専用外部センサ(別売)の使用時に熱風吐出口が350°Cを越えると外部センサランプ(赤色)と温度異常ランプ(橙色)が同時に点滅しヒータが切れる吐出温度上限回路を内蔵しています(オーバーシュート時に作動することもあります)。

注意:専用外部センサは抜け防止のために付属の結束バンドとバンドベースでしっかり固定してください。

## 7. 異常検出

- 7-1 本体が異常過熱(オーバーヒート)すると温度表示が消えて温度異常ランプ(橙色)が点灯して、運転を停止します。本体が冷えてから運転スイッチを再投入してください。
  - 7-2 HAS-30には送風機の電動機に自動復帰式サーモプロテクタを内蔵しています。作動時は特に表示が無く送風機の電動機が冷えると運転が再開されますので注意してください。
- 注意：HAS-10・20の送風機の電動機のサーモプロテクタが作動した場合はヒータが空焚きになりオーバーヒートして運転を停止します。
- 7-3 温度異常ランプが点滅した場合は、ヒータが切れ送風運転になります。本体の内部温度に異常が発生していますので運転状態や周囲温度を確認してください。
  - 7-4 HASシリーズには最終安全回路として手動復帰式サーモプロテクタを内蔵しています。運転しなくなった場合は修理を申しつけてください。

## 8. 故障診断

